

ビブリア

発行：
福島工業高等専門学校
編集：図書委員会

知的冒険のすすめ

— 卒研で慌てないように！ —

卒業研究の締め切りが近い今日この頃、5年生のため息はさらに深く、顔も引きつって見えます。自分で見つけた課題を、1年以上もかけて調査・実験・制（製）作してきた成果を論文の形にまとめ、発表会でプレゼンテーションするだけの話ですが、「言うは易し」で、実行は一筋縄ではいきません。文章の書きかたやプレゼンテーション技術を学ぶ機会は日本の教育の場にはほとんどないので、卒研を前にして悩む気持ちは共感できます。

そこで、在校生のみなさん、卒研に取り組むときになって慌てないように、今から準備できることをお教えしましょう。「ラッキー。で、どうすればいいの？」

簡単です。図書館に行って、知的冒険をするのです。もう少し具体的にいうなら、まず普段から興味や疑問をもっているテーマに関する本を手当たりしだい読んでみましょう。気に入った何冊かは熟読します。そのとき、こまめにカードやパソコンにメモをとり、整理して記録をためていきます（インターネットは1冊の書籍と違ってバラバラな情報が散乱しているので、



この場合のように系統だった思考をする訓練には向かない面もあります）。多読するほどに理解力・分析力・考察力が高まり、メモの蓄積とともに文章が書けるようになります。そして、繰り返すうちに文を書く作業そのものが楽になってくるのがわかります。こういう実感をもてたら、しめたもの。レポートなどさっと書けるようになります。クラスのみんなの前で発表する練習もします。慣れも必要ですから。受講科目でのレポート提出は腕試しの好機。さっそく担当教官に「試験よりレポートがいい」と提案してみるのもいい手かもしれません。

蛇足になりますが、こうして図書館に親しんだら、さらに知的冒険を続けてください。就職しても進学しても、「図書館で、けっこう役に立つよ」と思える高専の卒業生になってください。図書館は生涯の友達です。

図書館長・コミュニケーション情報学科教官
阿部妙子

目次

知的冒険の勧め	…1	5年生による本の紹介	… 6
「自分の頭で考える」ことについて	…2	図書の利用状況など	…17
感想文コンクール応募作品から	…4	図書館を便利に (1)	…18

「自分の頭で考える」ことについて —

『憲法を考える 1—第 147 回国会衆議院憲法調査会議事録』を読んで —

一般教科教官 藤澤 宏樹

専門が法学なので、法学分野の書物を読んで考えることが多い。ところが、まれではあるが、この分野の書物であるにもかかわらず、法学と関係のないことを考えさせられる書物がある。

例えば、奥平康弘解説『憲法を考える 1—第 147 回国会衆議院憲法調査会議事録』（現代史料出版/以下「本書」）である。私は本書を読んで、「自分の頭で考える」とは一体どういうことなのか、と考えさせられてしまった。ここでは、本書を読んで考えたことについて述べることにしたい。

本書は、衆議院憲法調査会議事録を収録したものである。「憲法調査会」とは、1999 年の第 145 回国会での「国会法の一部を改正する法律」により成立した機関である。今回の改正では、国会法に「第 11 章の 2 憲法調査会」という新章が設けられ、そこに次のような条文が定められた。すなわち、「102 条の 6 日本国憲法について広範かつ総合的に調査を行うため、各議院に憲法調査会を設ける/第 102 条の 7 前条に定めるもののほか、憲法調査会に関する事項は、各議院の議決によりこれを定める」である。これにより、2000 年第 147 回国会より憲法調査会が設置された。本書には、この国会で開催された 10 回の憲法調査会の議事録すべてが収録されている。

私は、新聞報道などで憲法調査会がどのような議論を行っていたかを知ってはいたものの、あらためて本書を読んでみると、議論のレベルの低さに驚かされてしまった。例えば、同調査会に参考人として招致された青山武徳参考人（憲法学）は、いわゆる「押しつけ憲法論」に関して、日本国憲法は、1907 年のハーグ陸戦法規 43 条（占領者は現占領地の現行法律を尊重せよという条文）に反しているから無効であると述べた。しかし、ハーグ陸戦法規は交戦中の占領に適用されるものであり、日本の場合は交戦後の占領なので陸戦法規は適用されない。仮に適用されるとしても、ポツダム宣言・降伏文書という休戦条約を結んでいるのだから、「特別法は一般法を破る」という原則に従い、ポツダム宣言の方が優先的に適用されると考えなければならない。現行憲法無効の根拠として陸戦法規を持ち出すのには何ら理由がないのである。

このように書くと、あたかも私がモノを知っているように見えてしまうが、それは錯覚である。実は、この事は、ちょっとした憲法教科書にはすべて掲載されている常識的な事柄なのである。青山参考人はこの事を本当に知らなかったのだろうか。そうだとしたら、後に招致された新藤榮一参考人が彼について、「議論の質が低すぎるのですよ。これは驚くべきものですね。……私は大変ショックをうけましたよ」（424p）と述べているが、もっともな話というほかない。同様の事例はまだある。自民党の高市早苗衆院議員は、日本国憲法について「12 条に、国民は憲法が保障する自由、権利を濫用してはならない、常に公共の福祉のためにこれを利用する義務を持つ、こう規定されているにもかかわらず、やはり自由、権利に関する規定が非常に多くて、義務や責任といったようなところに対する規定がまだまだ甘い」（617p）と述べた。

しかし、まず、12 条が権利の濫用を禁じているということから、なぜ義務や責任に対する規定が甘いなどという結論が導き出せるのか、このつながりが全く理解できない。12 条から義務規定を充実させよとの意味を引きだそうというのだろうか。それは著しく困難である。次に、日本国憲法は義務や責任に関する規定が甘いなどというのは、憲法に対する基本的理解が出来ていないということに他ならない。

なぜなら、憲法とは、人権を保障することによって国家権力を制限する法であるからである。歴史上数々の暴虐をくり返してきた国家の横暴を防ぐという目的を持った法であり、それは、アメリカ独立革命、フランス革命など「権利のための闘争」によって勝ち取られた成果なのである。憲法 97 条が「この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であって、これらの権利は、過去幾多の試練に堪へ、現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである」と定めているのはこの意である。このような歴史的背景を鑑みれば、憲法において義務に関する規定が少ないのは当然のことなのである。そもそも、一体どこの国に義務規定の充実している憲法があるというのだろうか。高市議員はこ

の辺りのことを分かっていなかったために、先のような勘違いとしかいえない議論を行ってしまったのである。(蛇足ながら、高市議員お好みの義務規定の充実した憲法もあることはある。旧社会主義諸国の憲法である。) この他にも、昭和 18 年生まれの古関彰一参考人に対し、あなたは若いから憲法制定当初の雰囲気は分からないなどと言っておきながら、改憲を主張した 35 歳の村田晃嗣参考人には「これで日本も安心だ……どうしても何か先生と言にくい。あなたと呼ばせていただきます」(204p) などと自分の感情を吐露しただけで、憲法調査会が何を行う場なのかをまったく理解できていない中村鋭一衆院議員など、議論のレベルの低さを示す例は枚挙に暇がない。

一体、この低レベルはどこから来たのだろうか。どうやら、高市・中村両議員や青山参考人は、過去の文献を調べなかった、調べたとしてもこれに学ばなかったようである。その代わりに、自分の頭で考えた。ところが、自分の頭で考えた「だけ」だったものだから、上述のような滑稽な議論を展開してしまった。

どうも、彼らは、「自分の頭で考える」ということを誤解していたのではないか。もちろん、「自分の頭で考えること」は大切なことである。しかし、過去の文献に学びもせずに、自分の頭で考える「だけ」では危なっかしくていけない。自分の頭で考えたことを様々な文献にあたって修正したり、考え直したりすることもまた非常に大切なことなのである。「自分の頭で考える」という言葉には、自分の頭で考えるということだけでなく、過去の文献に学んで考えるということの二つの意味が含まれているのを見逃してはならない。もっとも、このくらいの事は、誰にでも分かるごく当たり前のことである。ところが、国会議員ばかりか憲法学者までが分かっていなかった。嘆かわしい限りである。せめて、高専生の皆さんには「自分の頭で考える」ということをきちんと理解しておいてもらいたいものである。

図書館からのお知らせ&お願い (1)



1. 検索用 P C が導入されました。

Student (パスワードの設定なし) でログインしてどんどん使ってください。

ただし、設定変更、ファイルを消したりしてはいけません。

ファイルの保存はフロッピーディスクを利用しましょう (HD への書き込みはできません)

レポート作成用 P C ではありません。情報検索用 P C ですので、ご注意ください。

2. コピー機の利用について

図書館閲覧室に昨年 9 月からコピー機が設置されました。1 枚 10 円でコピーが取れるようになりました。利用枚数は 10 月 2 千枚、11 月 5 千枚、そして 12 月に 9 千枚と今時珍しい右上



がりに増加しています。数字で見る限り、十分に導入した甲斐・効果はあったものと考えていますが、紙は大切な資源であることをお忘れなく。大事に使ってリサイクルを心がけましょう。

ところで、ノートのコピーを書き写して“自筆ノート”を作るのは、環境に優しいのかな？

その後、コピー用紙はどこへ行ってしまったんでしょう。

それから 周囲の人にも優しい 待ち行列 もお忘れなく。

感想文コンクールに寄せられた作品から2つの作品を紹介します。

最優秀作品

イノセントワールド

コミュニケーション情報学科5年 芳賀敦子

彼女が彼に会ったのは、「彼が彼女の閉じた円環の中の、唯一の突破口だったから」。主人公アミは、知的障害をもち親から見放されている兄、タクヤと近親相姦の関係にある。彼を守るために売春で金を稼ぐ彼女は、自分の出生に隠された秘密を知ってしまう。——この小説は96年に出版され、多くの紙誌で論議を呼んだ。過激にリアルな筋立てが非難もされた。しかし、着目すべきなのは、表面的に不健全と思われる設定や性描写の多いストーリー展開ではなく、アミやタカモリカズヤの住む「閉ざされた世界」であるとわたしは思う。「閉ざされた世界」こそがこの小説の主題であり、その「出口探し」がこの小説の答えであるからである。アミはこの世界を受け入れていない。自分を取り巻く社会を現実＝自分の世界とすることができない。だから彼女の視点で語られる過激なストーリーには、汚さや嫌らしさが少しも感じられないのかもしれない。それでいて不自然に現実味を帯びているのは、彼女がその冷めた視線でそれでもこの世界に何かを見出そうとしているからではないだろうか。わたしにはアミやタカモリカズヤにある“世界の不受容”的な心理が彼らだけを侵しているとは思えない。それは、ものや情報やくだらない自我で溢れかえる世界の中である意味必然的に発生したのだ。アミは特別な女の子ではない。世界を受け入れることができず、自分(の世界)と現実の間に壁を感じてしまっている人はたくさんいる。わたしたちは、自分という一人の人間が存在し生きるこの世界の中に、些細であっても何かの意味や意思または存在する実感のようなものをもって、感じて、生きている。自分が世界を受け入れていることを意識しなくとも、生きている。しかし、もし、この世界の中の自分という一人を感じるができずにいたら、理由は何にしる、閉ざされた自分だけの世界から抜け出せずいたら、どうなるだろう。現実という外の世界を受け入れられなければ、その矛盾から不当に傷ついてしまう。そこからの突破口を探して、傷つきもがき続けるしかない。それなのに受け入れない。受け入れられない。そのことは何を意味するのだろう。わたしはそれこそがわたしたちを侵している何かであると思う。たくさんアミは自分がどこにいるのかわからなくなっているのだ。ここにいるのに、そのことから目を背けている。そのことを認めようとしな。だから自分が自分であるという意識が低い。先が見えない。それなのに、すごい速さで世界は動き、世界と自分との間にある壁はほとんど厚く不透明になっていく。そしてアミは増えていく。

「すべての偶然は必然だ。なぜなら世界は帰納法的に、矛盾と過ちに満ちた偶然を解析するがために存在しているのだから。」——アミは、自分を創った精子ドナーNo.307としてのタカモリカズヤと会う。そして彼と繋がることで、世界を受け入れず、しかし現実を受け入れて生きていくことを決める。いや、初めから決めていたのかもしれない。傷つき続けることがわかっていながら、それでも自分が思うように。タクヤとおなかの子供とそして自分のために。それは、すべての偶然を必然だという、今までになかった未来への希望と期待を意味する。きっと初めから、円環は閉じてはいなかった。きっとアミもそのことに気付いたのだ。

そしてそれはわたしたちにもそのままあてはまると思う。アミはたくさんいるし、増え続けるだろう。だけど円環は開いている。繋がっていても閉ざされてはいない。どんなに苦しんでも、何かのきっかけでそのことにさえ気付けば、この世界で生きていける、アミとタクヤのように。わたしたちは生きていかなばならない。わたしたちひとりひとりが存在していること自体が円環の一部であり、それが閉ざされることはないということは、わたしたちは一人きりではないことを意味するのだから。わたしたちは生きていくのだ。



イノセントワールド 桜井亜美 著

幻冬舎 ISBN4-87728-102-9 同文庫 4-87728-421-4

優秀作品

トリエステの坂道を読んで

コミュニケーション情報学科5年 山岸 幸

私は今後尊敬する人は誰かと聞かれたら、須賀敦子と答えたい。「トリエステの坂道」という彼女の本に出会って、そう思った。彼女と作品を紹介したいと思う。

彼女の経歴を紹介するとこんなふうになる。

1929年生まれ。戦後初めてできた女子大を卒業後、パリに留学し、そこで出会ったイタリア語に魅せられ、一旦帰国後再びローマに留学。当時のイタリアでサロンの役割をしていたコルシア書店で、店長ベッピノと出会い、'61年に結婚。イタリアで日本文学の翻訳・紹介に努めるが、結婚後7年で夫を亡くす。日本に帰国し上智大学で教鞭を執る。'90年に回想的エッセー「ミラノ霧の風景」を発表し数々の賞を受賞する。'98年没。

これだけを読むと、彼女はいかにも才女然とした積極的な立志伝中の人に思える。私は初めそんな印象で、つまり、まだ日本自体が弱かった頃、果敢に西洋社会に飛び込みそこで立派な仕事を成し遂げた、苦労話や文化論が強い調子で書かれていると思って、「トリエステ」を手を取った。しかし一読した印象は、静かな文、であった。

この「トリエステ」は短編が収められ、表題作は、かつて夫と共に愛読した詩人サバの生没地トリエステを、夫の死後二十年たって訪れたことが書かれている。しかし、そこには私の予想した強い須賀敦子はいなかった。強いというのは、夫への思いとかトリエステの風景の感想だとか、彼女自身の感情がでてきていることだが、当然それらはあるにはあるが、むしろ、立ち現れてくるのはサバなのだ。彼女は、トリエステの旅の進行と共にサバの一生を、独特の切れ目のない長い文体で書いている。しかもその文は、柔らかい。使われている単語が容易であり、彼女が好む言い回しが音的にもやさしいためだろう。そんな文で書かれているサバとトリエステは、物悲しい。トリエステはドイツに近く、文化的にイタリアにもドイツにも割り切れず、冬には北風が吹き荒れ、しかも今はさびれる一方の港町。サバもアイデンティに二重性を抱え、普通の幸福からは遠い一生のなかで人生の厳しさを知った。イタリアといえば、陽光溢れ陽気な人々が暮らす明るい国というステレオタイプな印象しかなかった私は、ここでも予想が外れた。最後は、彼女が自身も気付かないうちに自分の異国で生活した二重性を重ねていたことが告げられ、地中海の青を余韻に残して終わってしまう。他の短編でも、エッセーのはずであるのに、書かれているのは友人や夫の家族で、エッセーのメインとなるべき彼女自身の所感はあくまで控え目だ。友人や親戚の人生が、彼女との交流を糸口にして、時にはその人自身の一人称となって語られている。読後どの物語りも登場人物の人生が生き生きと現れるのだ。

ある意味で私の当初の予想は当たっていた。それは、彼女が若い頃から書きたいという情熱を持ち続け五十歳を過ぎてから実現させたこと、その独自の文体、思いつくままに見えてきちんと構成された物語から感じられる。彼女の友人の言葉を借りれば、「西洋人より西洋的な論理性」だ。しかし、これらの要素を私の予想とまったく違った形の物語にさせているのは、彼女が人生に対して持っているとても深い敬虔な姿勢だ。彼女の友人を書く文は暖かい。友人の中には老いていく人や墮落してしまう人がいるが、その人を弁護するということではなく(もちろん非難もせず)、事実が淡々と書かれている。だからこそ、サバの言う「つらい、人生という罪をつくなっている彼女たち」を感じると同時に、人生が「小さな宝石のようにかがやいている「のも感じられる。彼女は、どちらもが、人間には、必要だし、私たちは、たぶん、いつも両方を求めている、と書いている。

こんな人生観によって紡ぎださる物語は、とても美しい。彼女が、人生というものを、書いた物語も、そこに透けて見える彼女自身も、私には紹介しきれない。ぜひ、自分で直接、須賀敦子の物語を手にとってほしい。

トリエステの坂道 須賀敦子著 (みすず書房 ISBN: 4-622-04594-X 新潮文庫 4-10-139221-8)

5年生による本の紹介のページ

機械工学科5年生

1番 浅野直登

「バキ」板垣恵介著 秋田書店 この漫画は男の漫画です。男なら主人公のバキにあこがれると思います。私は登場人物の花山薫がすきです。花山の拳に感動しました。

2番 伊藤孝

「心をとらえる話し方入門」福田健著 高橋書店 口下手なぼくたちにぴったり。話し方の基本なので、しゃべりが得意な人は他の本を薦めます。

5番 大峯勝太郎

「世紀末リーダー伝たけし！vol14」島袋光年著 集英社 ぼっぼ小学校に通うたけしは、その並外れた容姿とリーダー的存在で、大活躍しまくるのだっ……！！

6番 大和田一博

「レース用NAエンジン」林義正著 グランプリ出版 車が好きで、NAのレスポンスが好きという人にお勧め。

7番 鎌倉昌樹

「成功の掟」マーク・フィッシャー著 講談社 成功したい人は読んだほうが良いですよ。

9番 菊池保夫

「Young Version」(株)交通タイムス社 さまざまな改造車が多数紹介されている。また、中古車の流用チューンがかなりすごいので車好きは必見

10番 小泉秀文

「ホワイトアウト」真保雄一著 講談社 映画でとても有名な原作本。冬のダムという壮大なスケールで繰り広げられる、主人公と犯人グループとの壮絶な戦いが魅力です。

11番 小泉有生

「ハチロクに乗る」「ハチロクを極める」ハチロクマニア必見です。いろいろなドライビングテクニックやハチロクを向上させるための本です。濃厚な内容なので初心者には不

向きかも。

12番 小林康二

「JKD」中村頼永著 ジークンドーとは、「截拳道」という文字の広東語読みで、英語で表記すれば jeet kune do となります。JKD は武術のスタイルでありながら流派ではなく、人生哲学でもあり、そして何より創始者である李小竜(ブルース・リー)の生き様、人生そのものでもあります。興味のある人は、IUMA へどうぞ。

13番 駒木根敦史

「インザ・ミソスープ」村上龍著 幻冬舎文庫 強力な存在が出てきたときの日本人や日本社会、日本文化というものの危うさ、脆さといったものを問いかける内容になっている。このままじゃいけないと考えさせられる一冊です。

15番、佐藤隆史、

「伊勢物語」紀貫之著 岩波書店 伊勢物語とは齋宮の条が巻頭にあった小式部内侍本系統の名であり、在五が物語、在正中将の日記は朱雀院本系統の名称であったが、それが伊勢物語に統一されたと考えられるのである。深い内容のものであるので、古文が好きな方には是非お勧めしたい作品である。

16番 佐藤朝範

「パチスロ必勝ガイド」日夜書店 欲しい情報が手に入る雑誌。本誌で毎月マニカッツが考える機種は一見の価値あり。

17番 四條嘉貴

「図解雑学 ゴルフの科学」岩上真人著 ナツメ社 某研究室に入る方必見です。

18番 篠原健一

「HKS流エンジンチューニング法」長谷川浩之著 グランプリ出版 エンジンチューニングについて熱く語る一冊。

19番、清水文彰

「不夜城」馳星周著 角川文庫 映画より面白いです。

20番 助川昌弘

「トンデモ本の世界」宝島社

著者の大まじめな意図とは無関係に読むと笑ってしまう。

22番、鈴木浩史

「新・飛ばしの科学」 増田正美著 廣済堂出版、ゴルフというスポーツを科学的に開発した本。某研究室では必読の一冊。

23番、鈴木真彦

「スイングの科学」 保国隆著 豊文社
プロゴルファー中島常幸も絶賛。ゴルフのスイング技術を更に高めたい方にお勧めです。

24番 高萩耕司

「ハリー・ポッターと賢者の石」
J.K.ローリング著 静山社
おもしろいともつばらのうわさです。イギリスでは児童書らしいのですが、訳した人の技によってとても児童書とは思えない本になっています。

25番 滝内崇

「死神くん」 えんどコイチ著 集英社
作者が作者だけにくだらないギャグが含まれるが、考え方や人生観が少しだけ変わる本。

26番 富永正志

「コインロッカーベイビーズ」 村上龍著 講談社文庫
生まれてすぐにコインロッカーに捨てられたハシとキク。二人が出会ってから繰り広げられるこの物語は、迫力があって面白い。

27番 中島英太郎

「ルパン三世」 モンキーパンチ著
ルパンが銭形に追いかけるという誰もが何度も目にする光景が基本となっているほんだが、何度もそのシーンを見ても面白い。

28番 永井善将

「サザエさん」 長谷川町子著
ネタを楽しむ漫画ではありません。とりあえず読んでみてください。

29番 橋本一彦

「流体のエネルギーと流体機械」 高橋徹著 理工学社
基礎、基本がしっかり理解できるようにわかりやすい文章で図や表が多くてとても読みや

すい。間違いが多いのもこの本の特徴だ。

30番、星野亮平

「インザミソスープ」
村上龍著 幻冬舎文庫

日本を訪れた外国人フランクの奇妙な行動に不信を抱いた主人公の風俗案内人。フランクの殺人者としてのペールがはがれていき主人公を巻き込んだ殺人へと変わる。そして最後は・・・。

31番 牧武司

「鬼平犯科帳」 池波正太郎著 文春文庫
人情話とサスペンスとの絶妙なバランスがよい。

32番 松本秀平

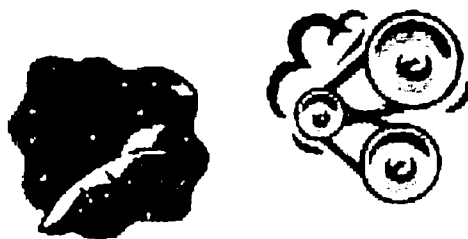
「ロケットボーイズ、上、下」 H.Jr.ホーマー著 草思社
NASAのエンジニアになった著者の青春時代をつづる自伝。はっきり言って感動します。どうぞお試しください。

33番、松本譲

「だから私は嫌われる」
ビートたけし著 新潮文庫
かなりの毒舌です。この本のほかに10冊くらい出てますが、全部面白いです。政治家にも触れていて、少し賢くなったと思わせる本です。

34番 山下真樹

「おとめ座伝説」 赤羽建美著 小学館
この本はバレット文庫と呼ばれる、小学館が少女向けに用意しているシリーズの中の一冊である。なぜ私がこの本を読んだのか、という細かいことはさておき、特筆すべきは作者のすばらしいセンスあふれるそのないようである。



電気工学科 5年生

1番 赤津 直人

「そして二人だけになった」

森 博嗣著 新潮社

巨大な密室アンカレイジに、六人が数日間生活することになった。その間、外部との交流はなし。そこで四人が殺されてしまう。残りは二人。犯人はどっち？

3番 石井 洋

「ありがとうなんて絶対に言わない」

大黒 摩希著 祥伝社

太めだった18歳のコンプレックス、デビュー直前のアメリカへの逃亡、トップアーティストになるまでの不遇と孤独の日々。登り詰めてなお、理想と現実のギャップに悩み、苦しむ自分。これまでCDでしか聞けなかった本人の生の声都在这里。

4番 稲澤 忠度

「スティル・ライフ」池澤夏樹著 中央公論社

科学と文学の新しい親和。清澄で緊張にみちた抒情性。しなやかな感性と端正な成熟が生み出した、世界に誇りうる美しい青春小説。

5番 上野 智史

「わかりやすい日中戦争」

三野正洋著 光人社

年毎の戦闘経過と戦死者数を示しながら、戦争の悲惨な実態を解説している本です。あまり知られていないソ連義勇飛行隊についても解説され日本と中国の単なる小規模ゲリラ戦ではなかったと教えてくれます。

6番 江坂 慎一、

「はじめてナットク！超伝導 原理からピン止め効果の応用まで」村上雅人著 講談社

この本を読めば、誰でも超伝導についてわかります。解説がとてもわかりやすいので、暇なときにでも読んで下さい。(注)卒研で鈴木研究室に行きたい人は必ず読むべし。値段 ¥980

9番 柏原 清一

「IT革命が面白いほどわかる本」

富士総合研究所 中経出版

近年「IT」や「IT革命」という言葉が頻繁に使われるようになってきたが、それらの仕組みや、それによって何が変わるのかが図と文

でわかりやすく書かれているので、本を読むのが苦手な人でも簡単に理解できるでしょう。

11番 小泉 慶洋

「暗黒の河」 J.グレイディ著

元CIAの現場工作員のジャドはグリーンベレーの猛者であったが、1990年の今はアル中の錠前屋。場末のバーで狙われ、逆に殺人を犯した彼は、逃亡中に旧友の作家ニックに真相を話す。一方、CIA長官は、海兵隊少佐ウェズリーに極秘裡にジャドを追跡するように命じる。国際的謀略工作に暗躍したトップスパイの運命を描く力作。

12番 齋藤 泉

「家」安藤 忠雄著 住まいの図書館出版局

建築家、安藤忠雄が今までに設計、デザインしてきた一般建築の数々を紹介する本。その「家」を手がけるにいたった背景やその「家」に対する安藤忠雄氏の想いがしるされている。真の便利さとは何か、を問いかける。単なる「建築(家)」という枠を越えた一冊。ぜひ読んでみて下さい。

13番 坂本 治樹

「みたい夢を見る方法」

C.マックフィー著 講談社

夢に意識的に参加する方法を教えてくれる本です。意識を持って夢を見れば、夢の中で遊んだり、考えたり、好きなことができます。この本であなたも夢の世界へ行ってみてはいかがでしょうか。

14番 坂本 幸也

「マーフィーの法則」

A.ブロック著 アスキー出版局

長い人類の歴史の上で、賢人や才人たちが見つけた、無意識の法則や現象をまとめたこの本。「宇宙の法則」や「宇宙の基本的構成要素」に違った面から近づくことかできるかもしれません。

15番 佐藤 史郎

「国民の歴史」 西尾幹二著、扶桑社

「新しい歴史教科書をつくる会」の会長である著者が、多くの日本人が抱くであろう日本史の疑問についてわかりやすく分析。真の歴史について考えさせられる一冊。

16番 佐藤 剛

「百万ドルをとり返せ！」

J・アーチャー著 新潮文庫

株式詐欺にあって無一文になった四人の男たちが、オックスフォード大学の天才的数学教授を中心に、頭脳の限りをつくす絶妙の奪回作戦を展開する物語です。おもしろいです。

17番 佐藤 信彰

「天使の卵～エンジェル・エッグ～」

村山由佳著 集英社文庫

この小説は第六回小説すばる新人賞という賞を受賞するだけあって、かなりおもしろく、泣ける一冊です。恋愛小説に少しでも興味のある方は読んでみて下さい。かなりいい感じです。

18番 佐藤 洋介

「ホリー・ガーデン」 江國香織著 新潮社

幼なじみの果歩と静枝。二人は一緒だった。三十歳を目前にした今でも・・・対照的な女性二人が織りなす、心温まる物語。

19番 杉下 高仁

「TrueType スーパーフォントコレクション」

インプレス編集部

今までで一番お世話になった本は… ということでこれを紹介します。TrueTypeFont 形式のいろんな形をしたアルファベットがこの本の付属の CDROM に 2500 個ほど入ってて、本の内容と言えは A~B と 0~9 ばかりの文字見本だけ。傍から見るとかなり変な本ですが、役立つ人にはかなり役立つ本です。(定価 2,893 円+税)

20番 鈴木 雄一郎

「借力の奇跡」現代の仙人

力 抜山著 こう書房

「借力」とは座数法と借力呼吸法により脳力と体力を同時に鍛えることができる神経訓練である。1日数回の借力呼吸法を毎日地道にこなせば良いという。是非この本を読んで、頭と体を鍛えよう。

21番 高木 智幸

「すべてがFになる」 森 博嗣著 講談社

孤島のハイテク研究所で完全に隔離された生活を送る天才工学博士。その孤島でさまざまな事件が起こる。偶然、島を訪れていた二人が解決するミステリイ。

22番 武田 祐介

「Everything」 桜井亜美著 幻冬社

内容はよく覚えていないが、桜井さんの作品の主人公は高校生あたりを対象として、おしゃれで、でも暗い部分があったりと最後まで楽しめます。ページ数も多くはないので、2~3日くらいで読めるので、ぜひ読んでみて下さい。他にも、イノセントワールドなどもあるのでおすすめします。

23番 千葉 幸輝

「挑戦サクラローレル物語」

月本 裕著 アートン出版

競走馬サクラローレルのフランス遠征を中心に、ローレルにたずさわった人々の苦労や喜び、夢などが書かれたもの。ローレルのフランス遠征について書かれた部分は、大変興味深く、競馬ファンならぜひ読んで欲しい一冊。

26番 永塚 和之

「五分後の世界」 村上 龍著 幻冬社文庫

現在の世界とは五分ずれた世界に迷い込んでしまった小田桐。そこは沖縄占領後も第二次世界大戦を続け、「連合軍」と地下に国家を持った「アンダーグラウンド」に分割されてしまった「日本」。そこでの小田桐の運命は…。この小説内の「日本人」、一つの目的に向かって突き進むすばらしさがよい。

27番 永山 浩司

「こころの手足」中村久子著 春秋社

「五体不満足」の乙武さんと同様に手足のない人が書いた自身の話で、一生懸命な作者の生き様は感動する。「知ってるつもり!？」にも取り上げられたほどの話。

28番 新妻 浩一

「創竜伝 12<竜王風雲録>」田中芳樹著 講談社

天界の大争乱の中で、歴史の狭間に落ち込んでしまった東海青竜王・を探し、宋代の中国を、五匹の動物たちを従えて旅する西海白竜王。そこに待っていたのは、宋と遼という二大国の大決戦だった。歴史上の名将が疾駆し、異国から来た悪神が跋扈する中で、竜王四兄弟は再会を果たすことができるのか!?

29番 平樂 浩二

変身 カフカ著、角川文庫

言わずと知れた名作です。

30番 馬目 高志

「まだ科学が解けない疑問」

J.ライ著 晶文社

未だに科学で証明できないいくつかの疑問・・・何故眠るのか、何故涙を流して泣くのか・・・などを紹介した本。このうちの一つでも解決できれば、あなたは後世まで語り継がれる名学者になれること間違いなしでしょう。

31番 水野 佳裕

「ジョーカー」 清涼院 流水著 講談社

第2回メフィスト賞を受賞した作品。最初から最後まで読者をあきさせない構成はさすが。最後の最後までいい意味で裏切られる最高のミステリー。

32番 吉田 勝晃

「武豊の瞬間」 サイレンスズカを名馬

へ導いた天才ジョッキーの人柄が分かる本。おもしろい。

33番 渡部 剛志

「サイレンスズカ 無垢なる疾走」

都地 政治著 ザマサダ

絶対的なスピードで競馬ファンを魅了した稀代の逃げ場サイレンスズカ。この本はサイレンスズカの生涯をまとめたノンフィクションです。母ワキアとの別れ、悲劇の天皇賞・秋など、思わずホロリと来るエピソード満載です。

34番 ナズワン

「話を聞かない男、地図が読めない女」

アラン・ピーズ著 主婦の友社

この本は、人間の進化について最新の研究成果を踏まえながら、そこから得られる教訓を男と女の関係に当てはめる本である。男と女の間起きるいろんな謎が解明され、理解を深める助けになるはずである。定価 本体 1600円



物質工学科5年生

2番 青木祐子

「アルジャーノンに花束を」D.キイス著

この本は、科学とヒューマニズム、性、愛と友情など、人生のさまざまな問題と喜怒哀楽を描いた感動の作品です。

5番 遠藤 祐介

「千里眼」シリーズ三部作

松岡圭祐著 小学館

映画化&ドラマ化された<催眠>の主人公、嵯峨敏也(稲垣五郎)と、こちらも映画化された<千里眼>の主人公、岬美由紀(水野美紀)が「ミドリ猿」の謎に挑むサスペンス。面白いです。

6番 小野弘恵

「アタマにくる一言へのとっさの対応術」

B.ベルクハン著 草思社

精神年齢がアップ!低レベルな事にムカついたら自分がかわいそう。ムカつくことにエレガントちっくに対応できるようになります☆★

7番 鎌田恵利

日本一短い「家族」への手紙 角川書店

手紙文化発信基地の福井県丸岡町主催による手紙コンクール「一筆啓上賞」の入賞作品集。どの作品も25~35文字と短いので、読みやすい。シリーズとして「母」への手紙、「父」への手紙などがある。家族の大切さを実感できる一冊です。

8番 菅野千晶

H.株式会社ロッキング・オン

『H』は、隔月偶数月に発行される雑誌です。かなり写真がきれいで毎回、いろんな人がでてきます。ホンマタカシも、写真を撮っているので写真好きな人も楽しめると思います。全体の雰囲気にとってもオシャレな感じ。お部屋のインテリアにもオススメです。

9番 小檜山 茂一

週刊少年ジャンプ 集英社

少年誌といえばやっぱりコレでしょう!!「北斗の拳」、「流れ星銀」、「ドラゴンボール」等さまざまな名作を生み出してきましたが、現在掲載されているヤツもすごいおもしろいよ!男の子だけじゃなくて女の子も読んでみてください。

10番 小山昭広

「ブラックジャック」手塚治虫著 秋田書店
私の二十年間の中で、唯一買った漫画です。
なんか、いいです。ピノコがまたいい味だして
るんですよ。(笑)機会があったら読んでみて
ください。

11番 酒井潤一郎

「かつてに改造」久米田康治著 小学館
思い込みが激しいために、自分が改造人間に
されたと勘違いしてしまった勝改造。彼は天
才塾の怪人たちから、町内の平和を守るべく、
日夜努力しているのだ。だが、そんな努力も虚
しく、単なるアホ少年としか思われていない…。
話は完璧なギャグマンガ。平凡な日常に一つま
みのスパイスを、という方は一度 ごらんあれ。

12番 坂本智美

A to Z 山田詠美著 講談社
たった26文字で関係のすべてを描ける言語
がある。感じていること、置かれている空間。
それをA~Zのアルファベットを順に頭文字
に置いて話を進めていく。Aは出会いを
ACCIDENTとし、Zだったらボディバックを閉じ
る音をZIPで表して話は終わる。

13番 佐川五月

陰陽師 夢枕獏著 文藝春秋
文章が巧みでおもしろかったです。

14番 佐藤寿枝

愛を乞うひと 下田治美著 角川文庫、
実母からせつかんされながら生きていく話で
す。ビデオより感動します。

15番 佐藤華子

ころろ 夏目漱石著 新潮文庫
学校の教科書にのっけて、続きがどうしても
気になり 図書館で借りて読みました。素直
に 夏目さんて偉大だなあと 感じました。全部
読んでない人は、どこにでもあるので是非読ん
でみて下さい。

16番 白土智子

野生の嵐 村山由佳著 集英社
染色作家の飛鳥とカメラマンの一馬。出会っ
た瞬間からお互い運命の相手だと感じているの
に離れてしまう…。せつない大人の恋愛を教え
てくれる本です。

17番 白土典広

バトル・ロワイアル 高見広春著 太田出版
「今日は皆さんに、ちょっと殺し合いをしてもら
いまーす。」先生からのこの一言で42名の
中学三年生が・・・話題の映画の原作本です。
とても切なく、憤りを感じ、感動します。ぜひ
一度読んでみて下さい。

18番 鈴木伸吾

リサイクル幻想 武田邦彦著 文藝春秋
現代社会で問題になっているものの一つにリ
サイクルがあります。ごみの分別、資源の再利用
と言った具合に騒ぎ立ててはいますが、果た
してその人々は全てを理解しているんでしょう
か…?この本は、そんな現代の人々の観点の甘
さを指摘し、我々が本当にすべきことを例をあ
げてわかりやすく解説しています。次世代の
人々の生活のためにも、是非とも読んでみてく
ださい。

19番 須田和哉

寄生獣-KISEIJU- 岩明均著 講談社
ある日、ヒトに寄生する生物が地球に。腕に
寄生された高校生が他の寄生生物と闘う恐怖と
感動の物語。ヒトに寄生しなければ生きていけ
ないのに、ヒトを食う。一体なんのために?

20番 寺岡美由紀

鏡の中の孤独 S.レベック著 集英社文庫
フランチェスカは鏡に映った自分の姿に幻滅
し、ダイエットを開始。だが拒食症 かかり衰
弱死寸前までやせ衰えてしまう。一命をとりと
め、治療を受けながら 学生生活に戻ったが、
太る事、食べる事への嫌悪感は抱いたままだっ
た・・・。

21番、中柴美希

北神伝綺(上・下巻)
大塚英志・森美夏著 角川書店
とにかく、面白い。社会がスキな方、読んで
みる事をお勧めします。木島日記もお勧めいた
します。
土方歳三散華 広瀬仁紀著 富士見書房
たぶん、絶版…。だったような…?書庫には
何冊か、新撰組の本があったと思うので、史実
を知ってから読んでみるのもよろし。泣けます。
ブッタとシッタカブッタ 小泉吉宏著 メ
ディアファクトリー
辛い事があつたら、すぐに読む。次の日から、

貴方は昨日より素敵になれるだろう本。

23番 永野洋一
ことわざ・名言事典

創元社編集部編 太洋社
就職試験や会社の宿題、文章を書くとき役立ちます。

24番 根本千裕
世ノ介先生、銀色夏生著 角川文庫
かわいくて風変わりな口へらずの世ノ介先生。そんな先生をこまらせてやろうと弟子たちは考えるが……。笑顔がぼわんとうかぶ、ほのぼののストーリー。

25番 芳賀宏樹
恋愛カタログ 永田正実著 集英社
えっ！？高田君と川瀬さんが？信じて待っていた実果の不安が的中していよいよ事態は...！？

26番 星美穂子
つい誰かに話したくなる雑学の本
日本社 講談社
タクシーがバックするとメーターは？『リゼント』の名前の由来は？など、日々の問題はこれ一冊で解決!!誰かに話さずにはいられなくなる話のタネがギッシリ詰まった『雑学本』を超えたものしり博学の本。

27番 松本伸子
ずっとそばにいるよ 長谷川聡子著 青心社
すごくカワイイ絵で見ててたのしい絵本です。ひとつひとつの言葉が心にじーんときて読めば読むほど心に響きます。暇なときに見ちゃいますね。買ってみたいはいかがですか？

1100円

28番 油座章雄
非ユークリッド幾何の世界
寺坂英孝著 講談社
非ユークリッド幾何は依然として不思議な物であり、この変な幾何が存在する事を面白く書いている。最初に平行線の話から始まり、非ユークリッドも存在し得る事、その歴史、ユークリッド原論についてもふれているので読みやすいだろう。

29番 横山篤
奈緒子 坂田信弘著 小学館
小6にして100mを11秒で走る、“日本海の疾風”宍岐雄介が繰り広げる駅伝物語。涙あり、笑いありの感動巨編。これを読めば絶対駅伝が好きになる。小出監督も大絶賛!!ビックコミックスピリッツ大好評連載中。

30番 吉田美香
人形師：恋月姫 写真：片岡佐吉
人形姫ビスクドール人形の写真集。磁器のお人形でまるで生きているかのような人形はどこか艶めかしさを感じます。Gothic ブランド Moi-meme-Moitieのデザイナーがお人形のお洋服を担当しているので、ファッションに興味がある人など見てみると良いと思います。

31番 若松裕美
正しい敬語で話せますか？ ワニ文庫
就職・進学活動に役立つかも!?

32番 渡部新一
悪魔で候 高梨みつば著 集英社
留美の行動により、お互いの気持ちを確認し合うことができた茅乃と猛。そんな二人の前に、ついに姉弟になる現実が迫って...!?

34番 カマルザマン
マクマリー有機化学概説(第4版)
J.McMURRY著、東京化学同人
本全体にわたって色刷を採用し、コンピューターで作図した分子などの図表はより理解しやすく、より読みやすく、より学びやすくなったのはこの本です。さらに日常生活からのトピックスと応用も含んでいるので興味深いものです。

建設環境工学科 5 年

1 番 相川 朋生

「空色勾玉」 萩原 規子著

ぼくがすいせんするほんは、おぎわらのりこさんの「そらいろまがたま」というほんです。じどうぶんがくですが、とてもあつくてむつかしいことがかいてあります。おもしろいので、よんでください。おわり

2 番 五十嵐 義明

「名門！第三野球部」 むつ利之著 講談社

最近心の冷めきっている君に必読の一冊。これを読めば冷めきっていた君の心を熱くしてくれること間違いなし。主人公、檜あすなろが大きく成長していく様を描いた純熱血野球漫画。脇役の活躍にまた感動を覚える。

3 番 大田 将

「姑獲鳥(うぶめ)の夏」 京極夏彦著 講談社
昭和初期を舞台にした話です。厚くて文章も難しいですが、とても引き込まれる作品です。ぜひ読んでください。

4 番 角田 敬伸 「漫画太郎先生ありがとう
～いつもおもしろい漫画を描いてくれて～」
☆画太郎著 集英社

人気急上昇中？の画太郎先生のコミックス未収録作品を掲載した超コミックです。くれぐれも乗り物の中では読まないで。

5 番 片寄 明季

「桐原家の人々」 茅田砂胡著 中央公論新社
なんとも複雑でおかしなホームコメディです。肝っ玉母さんここにあり！！

6 番 川嶋 伸大

「シュート」 大島 司著 講談社

現在でも人気連載中の「シュート」は、サブタイトルを変えながら何年も続いている。内容はメインにサッカーであり、話が進むごとにそのテクニクは現実離れしてくる。それでも高校サッカーという設定なのでプロはもっと凄いらしい。とりあえず面白いんで見てください。

8 番 草野 淳

「BLACK JACK」 手塚 治著 秋田書店
圧倒的多数の読者の共鳴と共感を呼んだ生命

のドラマです。

9 番 草野 秀明

「キスまでの距離」 村山由佳著 集英社
高3になる春、僕はいとこのかれん、その弟である丈との同居生活が始まった」村山由佳の贈る正統派恋愛小説。著者の純粋な感性に震えを覚える傑作です。機械科や電気科で紹介された村山シリーズとあわせてどうぞ。

10 番 櫛田 浩司

「江戸むらさき特急」ほりのぶゆき著 小学館
有名どころの時代劇が盛りだくさんのギャグ漫画。金さん、水戸黄門、うっかり八兵衛などが織り成すハーモニーが渋い。

11 番 久保 利絵子

「Harlem Beat」 西山優里子著 講談社
スリーメンのシュウからエアウォークでゴールを決めたのから始まり、はじめは拍手する方だった主人公・成瀬がみんなに拍手され、ヒーローに育ってゆく姿が見物のマガジンコミックス。澤村もかつこいい。

12 番 栗谷川 朋子

「盗聴」 真保 裕一著 講談社
盗聴マニア必見です。

13 番 小松 哲郎

「ドラえもん」 藤子・F・不二雄著 小学館
人間とロボットの友情を描いたヒューマンドラマで、特に長編シリーズは大いに感動することができる。夢をいつまでも持ち続けることのできる。夢をいつまでも持ち続けることのできる。夢をいつまでも持ち続けることのできる。夢をいつまでも持ち続けることのできる。ぜひ読んで下さい。

14 番 紺野 康二

「あずみ」 時は江戸時代、將軍家康が天下統一をめざすころ、ひと里はなれた山奥で10人の子供達が、己の使命をはたすべく産声をあげた。その最終試練は仲間同志で殺し合うことだった。生き方に迷う人は読む価値あり。

15 番 酒井 早苗

「クロスファイア (上・下)」 宮部みゆき著 光文社
念力放火能力(パイロキネシス)を持つ女性のお話です。あなたは、この能力が存在すると

思いますか？

16番 坂本 政信

「SLAm Dunk」 井上雄彦著 集英社
読んだ事がない人は、絶対読んだほうがいいですよ。もう感動しちゃいますよ、あの名場面、あの名言の数々…。もし読んだ事がある人は小暮が三井に言った言葉、覚えてますか？最終戦の状況、覚えてますか？忘れていたらもう読むしかないでしょう。

17番 定利 昭伸

「北斗の拳」 武論尊 原 哲夫著 集英社
199X年、核戦争後の暴力が支配する世界に現れた世紀末救世主にして北斗神拳伝承者ケンシロウと数々の強敵(とも)との出会い、別れ…。友情に、愛に殉じた漢(おとこ)達の熱いドラマを描く！ お前はもう、死んでいる…!!!

18番 佐藤 沙織

「ケンタロウのフライパンひとつでうれしい一週間」 ケンタロウ著 講談社
料理家！？ケンタロウの本の料理の教科書としてはもちろん、見てるだけでも幸せになるような一冊です。ケンタロウの料理本は他にもたくさん出ています。かわいいです。おいしそうです。おすすめです。

19番 佐藤 奈津子

「め組の大吾」 曾田正人著 小学館
これを読めば、消防士の何たるか、オレンジ(レスキュー隊)の何たるかが分かります。そして、消防車と消防士を見かけると、ときめくようになります。

20番 佐藤 佑介

「帯をギュッとね！」 河合克敏著 小学館
New wave JUDO comic. 絵、キャラ、ストーリー、全ての点において素晴らしい作品。柔道好きな人もそうでない人も、読んでみる価値大アリです。絵がとてもキレイなので、女性の方も読みやすいです。全30巻。

22番 橋 あすか

「密の味 ミレニウム・シューズ」
叶 恭子著 幻冬社
美しさ度 ☆☆☆ 華やかさ度 ☆☆☆ ス
リル度 ☆☆☆ 難易度 ☆☆☆

24番 Hiroyuki Toda 「DEAR BOYS」 八
神ひろき 著 18歳未満は読めません。

25番 根本 貴志

「セイントセイヤ」 車田 正美著 集英社
クロスを身にまとった聖闘士達の戦いの話。
おもしろいです。

26番 根本 靖久

「屍鬼」 小野 不由美 著
ほくがすいせんするほんは、おのふゆみさんの
「しき」というほんです。こわいほんですが、
かんどうします。とてもあつくてむつかしいこ
とがかいてあります。おもしろいので、よ
んでください。おわり

27番 野口 裕正

「スラムダンク」 井上 雄彦著 集英社
誰もが知っているけど、白熱する試合展開と湘
北の成長がとても面白い。これを久々に見たら
こうなるかも。「バスケがしたいです……」

28番 久野まど香

「ベルサイユのばら」 池田 理代子著
女のために男が死ぬ。美しすぎる超名作です。

29番 トクメイ希望

「HUNTER×HUNTER」 とがし？集英社？
おもしろいっす。これはイケますよ！？サイ
コーっす。

30番 星 洋之

「道徳戦士超獣ギーガー」漫☆画太郎 集英社
道徳を守るためにかんぜん立ち上がる道徳戦
士超獣ギーガー。本来は大人しい動物なのだが、
道徳を守らない悪い奴がいると、恐ろしい超獣
ギーガーに変身。奇才・漫☆画太郎による道徳
を守ろう作品20話を収録。

31番 渡部 真規子

「上限の月を喰べる獅子」 夢枕 獏著 早川書
房 すごい話です。「夢枕獏って何者！？」っ
て思うに違いない。

32番 渡邊 八重子

「長谷川町子全集33カラー版 よりぬき サザ
エさん」長谷川町子 著 朝日新聞社
四コマまんがのサザエさんがカラーでいっぱい
のっています。かわいいです。

コミュニケーション情報学科5年

五十嵐 裕

「国際政治」H.J.モ・ゲンソー著 福村出版
国際関係論の古典中の古典。定価¥12,000。
英文「Politics Among Nations」の日本語版である。

遠藤 周子

「パートナー（上）・（下）」
J・グリシャム著 新潮文庫
もらいものだけど、ひまつぶしに読んでたら
はまった。多額の横領されたお金のありかをも
ぐっての裁判は気になる所。

大友 友香

「陰陽師」夢枕獏／岡野玲子著・白泉社
鬼や魔物が潜んでいた平安時代、陰陽師とし
て活躍した安倍晴明の話。これは、原作小説の
マンガ版ですが、ビジュアル的にも凝ったマン
ガの方が陰陽師の世界に入りやすいと思うので、
あえてマンガの方をおすすめします。

大原 直也

「TSUGUMI」吉本ばなな著
主人公の少女の視点で描かれている”つくみ”
という少女の物語。一見強情としか思えないつ
くみの性格は、病気に負けまいという気持ちの
表れです。物語のラスト、つくみから主人公に
送られた手紙が感動を呼びます。

小野 静江

「2000年度経済白書」経済企画庁編
決しておもしろくはないと思うが一度くらい
は読んでみてもいいかも。私のおきに入りは、
その年度の経済を表している副題。今回は”新
しい世の中が始まる”だった。

小野 由里恵

「やさしいあくま」
なかむら みつる著 幻冬舎
大人にも是非読んでほしい絵本。悪魔の子供・
チュッチュの優しい気持ちに感動しました。

鎌田 倫子

「アジアン・ジャパニーズ」小林紀晴著
情報センター出版局
自分も旅に出たい。沖縄に行きたい。そう思

わずにはいられない。写真家である筆者が沖縄
へ渡り、そこで出会った人々を写真と共に綴る。
日常に飽きて、ちょっとした刺激が欲しい時に
読むといいだろう。

川角 典子

「星の王子様」
サン＝テグジュペリ著 岩波書店
誰でもこの本の名前を聞いたことがあるで
しょう。内容もぼんやり分かるかもしれませんが、
ちゃんと読んだことはありますか？何か
が失われかけているかも気づかない忙しさの中
でも心に潤いを与えてくれる一冊です。

熊谷 聡美

「青い鳥見つけた」集英社
3人の男女の切ない恋話。読んだら絶対感動！
涙涙！そしてジーンと胸に染みるでしょう……

小林 有希

「ブッタとシッタカブッタ」
小泉吉宏著 メディアファクトリー
マンガといってあなどれない、「心」を語る
本です。落ち込んだときには是非読んでみて
ください。

小関 悠子

「BLUE TO BLUE」駒形克己著 ONE STROKE
駒形さんは、グラフィックデザインをする人
です。この絵本は、駒形さんが自分のお子さん
が生まれたことをきっかけにつくりだした絵本
の1つです。何種類もの紙を使って作られたこ
の本は、ページをめくるたびに感動します。見
て楽しい、紙の質感を触って楽しい絵本です。

作山 絵里

「人はどこまで信用できる？～ダマシダマされ
る心理のカラクリ～」浅野八郎著 青春出版社
タイトルの通り、人間はどこまで信じ合える
かを書いてある本です。特にダマされやすい人
にはお勧めです。ダマシの手口、信じられる人
かどうかの見分け方など、様々な人間関係が描
かれています。

嶋原 拓巳

「レベル7」宮部 みゆき著 新潮社
レベル7というタイトルだけを聞いて内容を
推測できる人はあまりいないでしょう。しかし、
いざ読んでみるとなぞだらけのストーリーに引

き込まれ、読み進める事によって解る新事実に興味を奪われ、ふと気付くと朝になっていた、そんな本です。是非読んでみてください。

高橋 可奈子

「いくつもの週末」江國香織著 世界文化社
思いつかないので、今私が読んでいる本を紹介。江國香織さんの結婚生活についてのエッセイです。彼女の小説が好きな人は、エッセイも気に入ると思うので読んでみて下さい。

塚田 浩介

「サンクチュアリ」史村 翔／漫画 池上遼一・ビッグコミックス 全12巻

ボル・ポト派の制圧下にあった1970年代のカンボジア。その地獄を生き抜き、日本に帰国した、ふたりの少年、北条彰と浅見千秋。そこでふたりが目にしたのは、平和に安穏とあぐらをかき、明日に希望のない国民の姿であった。北条は「裏の世界(極道)」、浅見は「表の世界(政界)」から、日本の再構成すべく立ち上がる。権力渦巻く政界に、ふたりの運命は。そして日本の未来は……。

新谷 剛史

「名物!たびてつ友の会」

山口よしのぶ著 白泉社

旅と鉄道、その先には人とのふれあい・物語がある。そんな感じの話が綴られた作品です。言うなれば「人間モノ」。おまけに、実際に旅をするときに役立つ情報も満載です。

芳賀 敦子

「羊の宇宙」夢枕獏著 講談社

おもしろい。世界がひっくりかえる、かもしれない。ちなみにわたしは半分ひっくりかえりました。短いし、絵本みたいで読みやすい。なんだか世の中がつまらなく見える人、ぜひぜひ読んでみてください。図書館にあります。

平澤 典子

「むくどりとしゃっきん鳥」

池澤夏樹著 朝日新聞社刊

ひたすらに感心させられ、考えさせられるエッセイです。人口植林のこと、沖縄問題のこと、さまざまなことがトピックになっています。

「チギリスとユーフラテス」

新井素子著 集英社刊

「物語」が好きな方には是非読んでいただき

たいです。ある植民惑星の始まりと終わり、そこにいたるまでのさまざまな価値観の変化の歴史が描かれます。第20回日本SF大賞受賞作品です。

森田 千絵

「青春デンドケケケケ」

芦原すなお著 河出書房新社

田舎の高校生がバンドを作る話。音楽好きの人にとっては楽しさ倍増です。映画化されているので、こちらも是非見てね。とにかく面白くていい話なのです。

山岸 幸

「動物のそき」幸田文著 新潮社

動物園に行きたくなります。行ったら、泣いてしまいます。動物好きじゃなくても、よい文章に浸れて、写真(古寺巡礼の人の)も付いてお得な本です。

渡邊 景子

「賢者の贈り物」福音館

私も素敵なお伴に出会いたいです。

渡部 裕子

「涙が出るほどいい話」

「小さな親切」運動本部編・河出書房新社

どれも他人ごとの話だが、一つ一つの話がとても暖かく心にしみる話で、心のかわきを潤したいときにおすすめです!!

薬谷 三枝子

私が憧れている生き方をしている国際ジャーナリストがいます。落合信彦といいます!皆さんはカッコイイ生き方していますか?この方はすごいです。どうすごいかって?まずは(勝ち残りの生き方)からどうぞ!



図書の利用状況 (2001年1月末まで)

図書利用の中間報告です。
レポートの参考資料だけが図書ではありません。リクエストボックスも利用して下さい。

表-1 本をたくさん借りた学生

1	80冊	近藤努	機2
2	77冊	田中美菜子	建2
3	71冊	雫石多織	物3
4	69冊	山岸 幸	コ5
5	60冊	サイドウツザマン	物4
6	52冊	森田千絵	コ5
7	51冊	松橋北斗	機4
8	48冊	吉田篤史	物3
9	45冊	油座章雄	物5
10	44冊	芳賀敦子	コ5

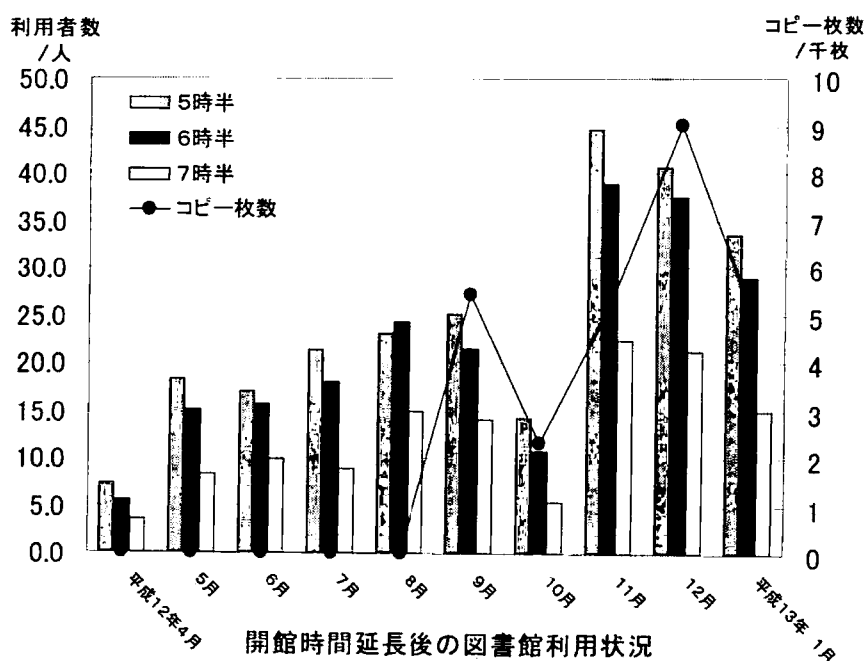
表2, 3 クラス別利用状況

クラス別貸出人数			クラス別貸出冊数		
1	323	機3	1	499	機3
2	276	機2	2	434	機2
3	276	物4	3	428	物4
4	240	物3	4	384	物3
5	209	電4	5	375	コ5

貸し出し数が多かった図書

回数	書名	著者	出版社
1 2 6	なっとくする熱力学	都筑卓司著	講談社
2 1 2	旋盤作業の実技	小林輝夫ほか	理工学社
、	よくわかるフライス盤作業法	フライス加工技術研究会編	理工学社
4 1 1	ますの	柘野浩一著	実業之日本社
、	てのりくじら	柘野浩一著	実業之日本社
、	切削工学	稲田重男ほか	朝倉書店

開館時間の延長による利用者数の変化



開館時間の延長は、利用者数の増加から完全に定着したようです。コピー機も活用されていることがわかります。

図書館を便利に(1)

～本のラベルが教えてくれるものとは～

誰にでも「ほしい本が見つからなくて、時間をムダにってしまった」という経験が、一度くらいはあるのではないのでしょうか？また、「そんなことはいつものことだ」という人もいるでしょう。そんなあなたは、本に貼ってあるシールにちょっと気を配ってみてください。

図書館の本にはシールが2枚貼ってありますが、1枚は本の表紙や背表紙にあるバーコード、もう1枚は本の背の下の方にあるラベルです。バーコードの方には本の登録番号が記録されていて、福島高専図書館の蔵書全てに異なる番号がふってあります。このシールは本の貸出や返却の処理の際にも利用しますから、皆さんもよく知っていることでしょう。どちらかという、図書館の都合で貼っていると見えるかもしれませんが、一方、ラベルの方には、図書館の都合以上の深い意味があります。皆さんはこのラベルが教えてくれる情報を便利に利用しているのでしょうか？

それでは、「伊東祐光・加賀廣・高橋裕男共著『機械製作法(Ⅲ)』森北出版」という本を例に、ラベルをよく見てみることにします。図にあるように、本のラベルは3段に分かれた構造をしています。1段目の数字は分類記号といい、この場合の「532」は「機械工作、工作機械」という分野の本であることを意味しています。2段目の「K」はタイトルや著者の頭文字です。3段目はその本がシリーズである場合に巻数が書き込まれます。この本の場合では、「機械製作法」というシリーズの3巻目ということになります。これら3つを合わせて「-」でつないだものが、検索の際に使用する「請求記号」です。

図書館の本はこのラベルの表示にしたがって整理されています。1段目の分類記号の数字が最も優先され、棚の中で小さい順に左から右へと並んでいます。同じ番号の本は2段目のアルファベット順に、同じシリーズは3段目の表示にしたがって、もちろん1巻から順に並べられます。この法則さえ覚えていれば、請求番号がわかった本は必ず見つけられます。ただし、これは図書館の蔵書が正しく並べられていなければの話です。つまり、逆をいえば、この分類にしたがって並んでいない図書は探しようがないということになります。ですから、利用した本を棚に戻す際には、自分の記憶だけに頼るのではなく、本のラベルに注目してください。そうすれば、「ここにあるはずの本がないっ！」なんていう行方不明状態を防ぐことができます。たった一人がいい加減な返却をすることによって、その先その本を利用したい大勢の人に迷惑をかけてしまいますから、皆さん一人ひとりの自覚がとても大切なのです。

今回説明した分類はどこの図書館を利用する場合も共通ですから、自分の専門分野の分類記号くらいは覚えておきたいものです。これまで、ラベルを気にせずに図書館を利用していた人は、この請求記号を頼りにすることでうんと本が探しやすくなるはずですよ。ラベルが教えてくれるものを十分に理解して、図書館の賢い利用者になりましょう。そのための質問はカウンターでも大歓迎です。

(図書館非常勤職員 高木さやか)

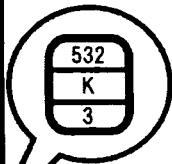
機械製作法

(Ⅲ)

伊東祐光
加賀廣
高橋裕男
共著

532
K
3

森北出版



編集後記

たくさんの方々にご協力頂き発行となりました。御礼申し上げます。使いやすく便利な図書館となるために、さまざまな取り組み試行中です。でもね、利用者の協力なしには、図書館の運営は危ういのです。さて、どうしたものかとかという時に、ヒロイン登場、以下次号につづく(し)